

清水の子



『未来を創造する
清水の子の育成』
◇学びを広げる子
◇思いやりあふれる子
◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285

Eメール simizu-
es1@hokkaido.school.ed.jp

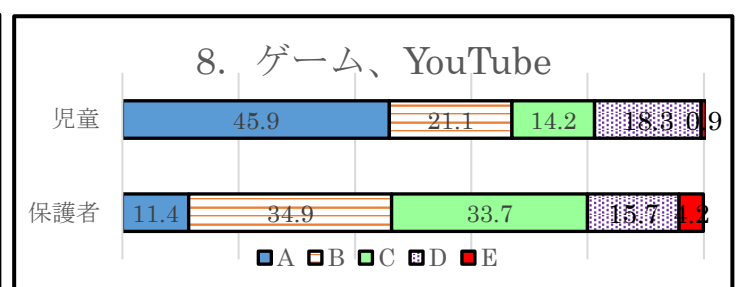
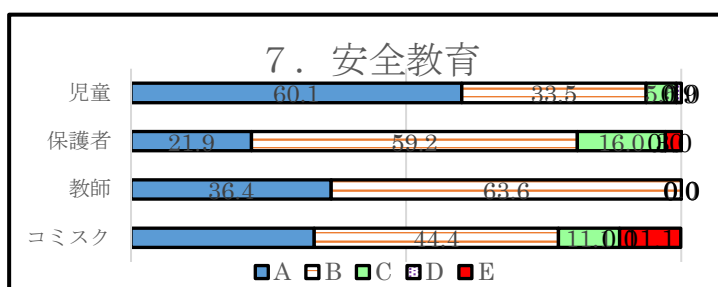
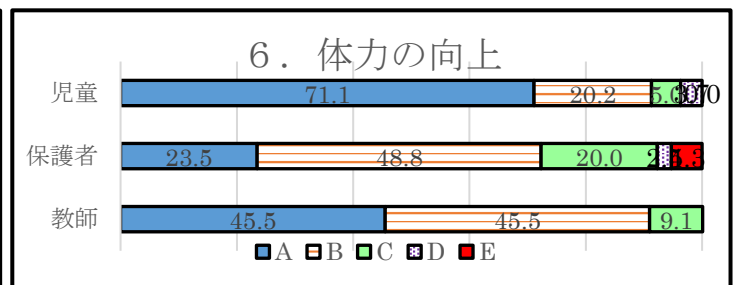
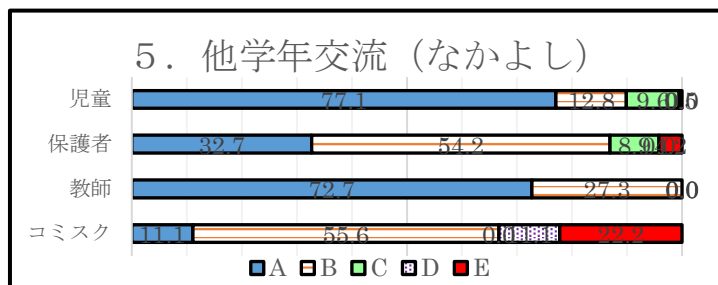
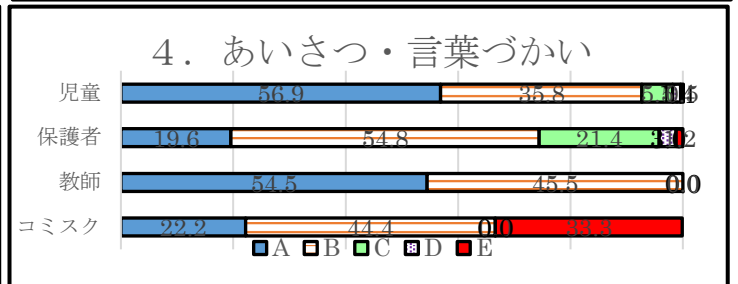
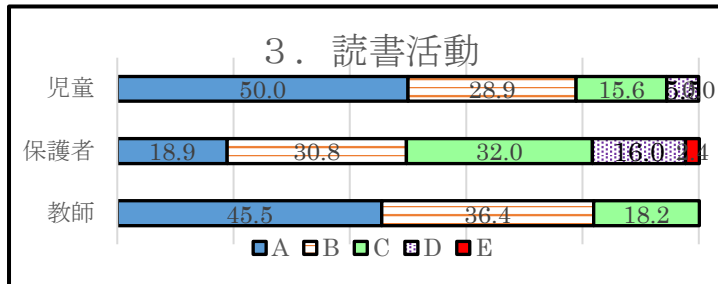
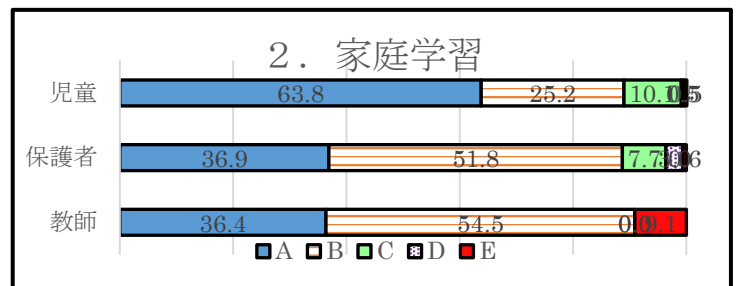
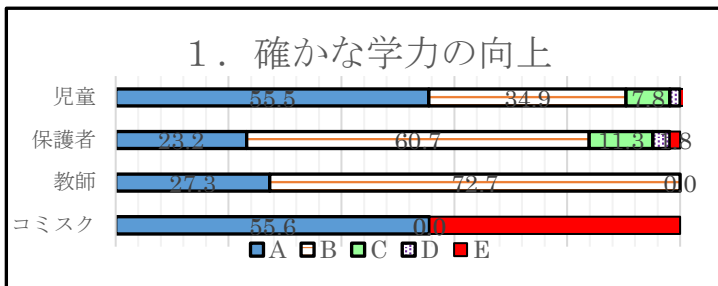
特別号 令和5年10月25日発行

「前期学校評価」について

本校では、7月に行った「保護者アンケート」「児童アンケート」「学校運営協議会（コムスク）アンケート」「教職員アンケート」の集計結果等から、今年度前期の学校経営を評価し、後期の改善に向けた方策について検討を行いましたのでお知らせいたします。

保護者アンケートの回答率は、170/220で家庭数の77.2%(昨年62.6%)となりました。アンケートのご協力ありがとうございました。

※A=達成 B=概ね達成 C=やや不十分 D=不十分 E=判断がつかない



<各アンケートの結果とご意見について>

たくさんのご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。アンケート結果と、いただいたご意見を真摯に受け止めて、学校としての考えをまとめました。

1、「確かな学力の向上」「家庭学習」「読書活動」について

- 「確かな学力の向上」に係る質問項目において、三者ともに肯定的な回答が80%に達しています。本校では、学級担任が変わるたびに指導の仕方が全く変わってしまい子どもが混乱することのないように「清水小スタンダード」をもとに学習の約束を作成し、開成中学校と連携した指導を行っています。次年度に向けて開成中学校と共に内容の見直しを行います。また、学習の約束の保護者への配布も検討しています。その他、指導内容や支援が必要な児童の状況に応じ、学級担任のほか教務主任、学校図書館司書、通級指導担当教諭、特別支援教育支援員、介添員、ALT等による複数指導や、外国語専科による専門性を生かした指導を行い、指導体制の充実を図っています。これらの取組を今後も継続していきますので、参観日等でご覧ください。
- 各種学力調査の結果、自分の考えを記述する問題に課題が見られました。このことから、週3回の朝の活動の中で、課題となっている問題を絞って再度取り組ませ、問題の傾向や、記述の方法・ポイント等について繰り返し指導するとともに、基礎・基本的な学習内容を意識した取組を行います。その他、授業の中でICT機器やデジタル教科書、児童用タブレットでの電子ドリルなどの有効活用を継続し、個別最適で協働的な学びの実現を目指します。
- 「家庭学習」に係る質問項目も三者ともに肯定的な回答が80%に達しました。ただし、家庭学習に取り組む時間や取組内容に課題が見られます。各学年の目標時間(学年×10分+10分)を達成するために、現在の取組を見直し・改善し、全校で統一した指導を目指しているところです。昨年度同様、家庭学習週間を設定した上で、取り組む意欲付けとして、「家庭学習チェックカード」を用いることを検討しています。なお、家庭学習の充実に向けては、ご家庭の協力なしでは成り立ちません。今後ともご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。
- 「読書活動」に係る質問項目において、保護者の肯定的な回答が低いです。保護者の皆様からも、学校の読書活動について理解いただく反面、さらに取組を充実させてほしいとの要望も少なからずございました。学校では11月に「親子読書強調月間」の取組を実施します。これを機会に保護者の皆様に学校図書館の図書貸出を知っていただくこと、親子読書スタンプカードを返却いたしますので、ご確認いただき、親子読書へのチャレンジをお願いいたします。家庭で本を読む習慣をつけられるように、今後も取組を進めてまいります。

2、「あいさつ・言葉づかい」「他学年交流(なかよし)」「安全教育」「ゲーム・YouTube」について

- いじめの早期発見・対応に向けては、年間2回のいじめアンケートの結果を全職員での共有や日常的な児童観察、教育相談を行っています。また、児童委員会主催のなかよし集会ははじめ、各種交流活動を通して、いじめは絶対に許されないこと、いじめについて全校で考える機会を今後も作っていきます。また、児童委員会では、学校全体で仲良く過ごしていきたいと、他学年と工夫しながら、交流あそびに取り組んでいるところです。
- 校外生活については、毎年のことですが「公園の使い方」「自転車の乗り方」「スマホ・ゲームの時間が守れない」ことの3つが課題となっています。公園でのボール遊びや乱暴な自転車の乗り方は、他人にけがをさせたり自分も大けがを負ったりすることにつながります。また、ネットモラルの低下は学力低下や悪い大人との接触による問題行動の発生の原因となるばかりでなく、いじめの原因となります。ゲーム機やスマートフォン利用の約束づくりや、SNSのチェックなど、ご家庭でもご指導いただきますようお願いいたします。
- 挨拶については、引き続き「地域の方や来校のお客様にも元気にあいさつ」するよう指導していきます。たとえ挨拶が返ってこなくても、こちらからは元気に挨拶をするよう子どもたちには指導しています。児童会を中心に「進んで挨拶する」ための取組を行い、学校全体で重点的に指導します。また、言葉遣いの指導もいじめ防止や道徳科の指導と合わせて行っていきます。

3、「体力向上」について

- 体力向上に向けては、1学期に行った体力テストの結果から、課題の見られた50m走と上体起こしの向上に向けた取組を、体育の授業で行います。3学期に2回目の体力テストを実施し、1回目以上の記録になるよう、目標を明確化して取り組みます。

4、その他

- 今後も感染症予防対策を継続します。学校では「手洗いの励行」「暖房と換気の併用」等の対応を行っています。
- 学校一斉メール「さくら連絡網」により、欠席連絡ができる他、学級閉鎖のお知らせや、市教委からのお知らせ文書の添付、アンケート等での配信を行いました。後期も感染症の流行や悪天候により、緊急の連絡を行う場合もあります。引き続き「さくら連絡網」の活用にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。まだ登録されていないご家庭や機種変更等でメールアドレスが変更になったご家庭は早めの登録をお願いいたします。また、きょうだいのいるご家庭は、全てのクラスで登録をお願いします(クラスごとの連絡を行う場合があります。)登録用紙は学校にありますので、お気軽にお声掛けください。

・学校評議委員会（コムスク）アンケートの結果について

①当てはまる ②どちらかと言えば、当てはまる ③どちらかと言えば、当てはまらない
④当てはまらない ⑤分からない 回答9名（単位：％）

		①	②	③	④	⑤
1	学校は、授業公開や授業交流などの研修をとおして、授業力の向上に取り組んでいると思いますか。	55.6	0	0	0	44.4
2	学校は、授業のほか様々な教育活動でタブレットを活用し、児童生徒の学びの充実に努めていると思いますか。	11.1	44.4	11.1	0	33.3
3	学校は、地域（自治会、地域の人材や施設、PTA）との協働による教育活動の推進に努めていると思いますか。	55.6	33.3	0	0	11.1
4	学校は、教育活動の状況を公開（学校だより、ホームページ、来校機会の充実ほか）するなど、情報公開に努めていると思いますか。	44.4	33.3	11.1	0	11.1
5	学校は、いじめや不登校を予防・改善するための取組に努めていると思いますか。	11.1	55.6	0	11.1	22.2
6	学校は、思いやり、礼儀、公正など大切にする心を育む教育に努めていると思いますか。	22.2	44.4	0	0	33.3
7	学校は、教育活動を通して、自ら考え自ら進んで取り組む力の育成に努めていると思いますか。	44.4	22.2	11.1	0	22.2
8	学校は、危機管理の充実に努めていると思いますか。	33.3	33.3	11.1	0	22.2
9	学校は、健康増進、生命や性に関する教育の充実に努めていると思いますか。	33.3	44.4	11.1	0	11.1

ア、肯定的な意見が80%を超えたものは、「3. 学校・地域の協働」のみでした。

イ、回答で特徴的だったのは、「⑤分からない」が多かったことでした。学校は教育活動全般を通して、学校だよりや、学校ホームページ、その他のツールを用いて、情報を発信していくことの重要性を痛感しました。アフターコロナの今、参観日等の機会も活用しながら、より情報を発信できるよう努めて参ります。

ウ、「5. いじめ・不登校の取組」については、「長期間不登校の生徒に対して改善する取組が生徒・保護者からの観点で見られない」といったご意見をいただきました。上記同様、さまざまな場面や機会を通じてお知らせし、お子様が安心して通える清水小学校を目指してまいります。